

# 「ヒト iPS 細胞を用いた多発性<sup>のうほう</sup>囊胞腎に対する創薬研究」について

## (1) この研究の目的と意義について

遺伝性疾患である常<sup>じょう</sup>染色体<sup>せんしよく</sup>優性<sup>たいゆう</sup>多発性<sup>たはつせい</sup>囊胞腎<sup>のうほうじん</sup> (ADPKD) は、腎臓に多数の囊胞<sup>のうほう</sup>（内部に液体を貯めた袋）を形成し腎不全となりうる難病です。本研究では、以前にこれらの病気の患者さんから血液や皮膚の組織を提供いただき、そこから作製した iPS 細胞を腎臓に変化させることによって、患者さんの体の中で起こっている病気の解明と新しい治療薬を開発することを目指します。

## (2) 研究の方法について

本研究は京都大学 iPS 細胞研究所と日本たばこ産業株式会社との共同研究として実施します。京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院の医の倫理委員会で承認された別の研究計画書（受付番号：R91/G259）で ADPKD の患者さんから作製した iPS 細胞等を腎臓に変化させることにより腎囊胞を再現する病気のモデルを作製し、そのモデルを使って囊胞形成に関係する遺伝子を見つけたり、日本たばこ産業が所有する治療薬の候補の囊胞形成に対する治療効果を調べます。

研究期間：承認日～2021 年 3 月 31 日

研究機関：京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者：増殖分化機構研究部門・教授・長船健二

共同研究機関：日本たばこ産業株式会社

（本社所在地：〒105-8422 東京都港区虎ノ門 2-2-1, 医薬総合研究所所在地：〒569-1125 大阪府高槻市紫町 1-1）

共同研究機関の研究責任者：日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 生物研究所・副所長・

西宇 淳

研究で利用する試料・情報等の項目

<試料>

先行研究 R91/G259 で樹立した ADPKD 患者由来 iPS 細胞および健常者 iPS 細胞や市販試料から樹立した健常者 iPS 細胞とそれらから遺伝子改変をした iPS 細胞、あるいは

	<p>はそれらの iPS 細胞からの分化細胞</p> <p>&lt;情報&gt;          診断名、年齢、性別、検査結果(遺伝子検査(iPS細胞から作製した分化細胞のマーカ―遺伝子の発現確認など)、画像検査など)</p>
試料・情報の利用目的及び利用方法	ADPKD 患者由来 iPS 細胞等を腎臓に変化させることによって、病気を再現するモデルを作製し、それを用いて病気が起こるメカニズムや治療薬の開発研究を行う。
試料・情報を利用する者の範囲	京都大学 iPS 細胞研究所 日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 生物研究所
他機関へ提供する試料や情報等	<p>&lt;試料&gt; 該当なし</p> <p>&lt;情報&gt;          診断名、年齢、性別、検査結果(遺伝子検査(iPS細胞から作製した分化細胞のマーカ―遺伝子の発現確認など)、画像検査など)。</p>
他機関へ提供する方法	<p>&lt;試料&gt; 該当なし</p> <p>&lt;情報&gt;          印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信します。</p>
提供先における試料・情報の管理責任者	<p>機関名: 日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 生物研究所</p> <p>研究責任者: 西宇 淳</p>

### (3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

### (4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

## (5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

## (6) 連絡窓口

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局

電話番号：075-366-7008

受付時間：平日 10:00~17:00

Eメール：[ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp](mailto:ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp)

期 日：2019年7月22日17時まで(原則として、通知から2か月間)

以上